

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市医師会看護専門学校運営費補助金	開始 年 度	昭和49年度
団 体 名	公益社団法人 函館市医師会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・函館市医師会看護専門学校運営費補助金交付要綱（平成29年4月1日施行）		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	准看護師および看護師の養成に係る経費補助
目 的	(目 的) 市内の医療機関等に対する看護職員の安定的供給 道南地域の高校卒業生の進路である、当該地域における唯一の准看護師養成校の運営維持
・ 効 果	(効 果) 平成30年度実績 卒業生（准看護師・看護師）のうち、 就職者34名中 市内の医療機関に就職 31名(91.2%) 上記のとおり、市内の医療資源の産出や人口の流出の抑制という点において高く貢献している。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	その他	計
		市	その他					
収 入	26	4,500	33,067		165,105		30,951	233,623
	27	4,500	32,888		167,455		28,826	233,669
	28	4,500	32,514		159,662		19,304	215,980
	29	3,825	31,566		119,388		43,528	198,307
	30	1,575	15,685		32,398		98,720	148,378
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	26	135,307	25,135	73,181				233,623
	27	139,162	24,451	70,056				233,669
	28	114,387	22,230	79,363				215,980
	29	112,034	19,516	66,757				198,307
	30	86,827	17,801	43,750				148,378

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市医師会看護専門学校運営費補助金
----------------	--------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒	☐	当該補助金は、道南地区における唯一の准看護師養成学科を有する看護師養成校に対する運営補助であり、同校の卒業生の多くが、市内医療機関に勤務する等、市内の雇用の創出および市民に対する適正な医療水準の提供に貢献している。 道南地域で准看護師の養成校は、唯一、同校だけであり、道南地域の高校生の進路の一つとして重要な役割を果たしており、同校の運営に支障が生じた場合、札幌等への医療資源の流出が懸念される。 平成24年度に、自立化に向け、事務費等運営経費の見直しを図り、50万円補助金額を減額している。 「学校運営費」という性質を考えた場合、委託や負担金ではなく、補助によることが適切である。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市医師会看護専門学校運営費補助金
----------------	--------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

市内の医療機関への就職状況

(達成状況)

同校卒業生の動向 (H30年度実績)

看護学科

就職者: 34名中31名が市内就職 (91.2%)

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☒	看護師不足が深刻化している現況にあって、同校卒業生の約9割以上が市内近郊の医療機関に就職している状況であり、本市の医療資源の産出という点で大きな効果を上げているほか、人口の流出の抑制という点においても、貢献していると考えます。
一定の効果をあげている ☐	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) (見直しの時期)
☐ 見直したうえで補助を継続	
☒ 廃止	
☐ その他	

(廃止の理由) 当該看護学校の課程 (准看護学科) が廃止されるため (廃止の時期) 平成30年度	(その他の内容)
---	-----------------------------

○終期の設定

終期設定	☒ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 年度	☐ 終期到来時に再検討	令和 年度